

vCloud Director 10.0.0.2 for Service Providers リリース ノート

vCloud Director 10.0.0.2 for Service Providers | 2020 年 4 月 30 日 | ビルド 16094943 (インストール済みビルド 16081830)

このリリースノートの追加事項や更新事項を確認してください。

このドキュメントの内容

- [新機能](#)
- [システム要件とインストール](#)
- [ドキュメント](#)
- [vCloud Director 10.0.x for Service Providers の以前のリリース](#)
- [解決した問題](#)
- [既知の問題](#)

新機能

vCloud Director 10.0.0.2 for Service Providers Patch リリースでは、バグを修正し、vCloud Director アプライアンスの基本 OS および vCloud Director のオープンソース コンポーネントをアップデートします。

システム要件とインストール

システム要件とインストール手順の詳細については、『[vCloud Director 10.0 for Service Providers リリース ノート](#)』を参照してください。

ドキュメント

製品の完全なドキュメント セットを参照するには、「[VMware Cloud Director のドキュメント](#)」にアクセスしてください。

vCloud Director 10.0.x for Service Providers の以前のリリース

[vCloud Director 10.0.0.1 for Service Providers リリース ノート](#)

[vCloud Director 10.0 for Service Providers リリース ノート](#)

解決した問題

- **Edge Gateway ファイアウォール ルールを追加できない**

分散論理ルーティングが有効になっている Edge Gateway で、新しいファイアウォール ルールのソースまたはターゲットとして分散ルーティング インターフェイスを使用するネットワークを選択すると、エラー メッセージが表示され、操作が失敗します。

無効な vnicGroupId vnic-index-X が指定されているか、vnic-index-X が削除中ですがファイアウォール ルール ID 0 で消費されます。エラー コード 12008

- **[仮想マシン配置ポリシーの作成] ウィザードの [次へ] ボタンがグレイアウトされ、仮想マシン配置ポリシーを作成できない**

仮想マシン配置ポリシーの作成中に、名前にドット (.) を含む仮想マシン グループまたはクラスを選択すると、[仮想マシン配置ポリシーの作成] ウィザードの [次へ] ボタンがグレイアウトされます。

- **API を使用して、現在の組織 VDC 外にある vApp または仮想マシンのスナップショットを作成できる**

ローカル組織の管理者の認証情報を保持している場合に、API を使用すると他の組織 VDC 内にある vApp および仮想マシンのスナップショットの作成が可能になります。

- **vCloud Director REST API を使用して GET クエリを実行すると、Edge Gateway を含む完全なリストが返されないことがある**

1,000 台以上の Edge Gateway で構成された組織 VDC に対して API GET /network/edges クエリを実行すると、組織 VDC 内の Edge Gateway の完全なリストが返されません。

- **NSX Edge Gateway のプロパティを更新すると、同じ Edge Gateway が再デプロイされる**

NSX Edge Gateway を [大] に設定している場合、プロパティを更新すると、vApp 配置エンジンが同じ NSX Edge Gateway を再デプロイします。

- **期限切れの vApp についての E メール送信が組織管理者に限定されず、組織のすべてのメンバーに実行される**

vApp ストレージ リースの有効期限が切れると、割り当てられたユーザー ロールに関係なく、組織管理者以外の同じ vCloud Director 組織のすべてのメンバーにも E メール通知が送信されます。

- **組織 VDC ネットワークのインターフェイスを内部からサブインターフェイスに変換できない**
vCloud Director Web コンソールで、組織 VDC ネットワークのインターフェイスを **[内部]** から **[サブインターフェイス]** に変換しようとする、次のエラー メッセージが表示され、操作が失敗します。

サブインターフェイス インデックス '10' の論理スイッチ ID 'id-of-logical-switch' と TRUNK vNIC のバックキング分散ポートグループは同じスイッチ上にある必要があります。エラー コード 10196
- **[新しい仮想マシン] ウィザードの [OK] ボタンがグレイアウトされ、新しい仮想マシンを作成できない**
vCloud Director テナント ポータルで、1 つの仮想マシン サイジング ポリシーをデフォルトのサイジング ポリシーとして設定せずに組織 VDC に追加した場合、新しい仮想マシンの作成を開始すると、**[新しい仮想マシン] ウィザードの [OK] ボタンがグレイアウトされ、新しい仮想マシンの構築を続行できません。**
- **vCloud Director 組織管理者に nobody@vmware.com からのバウンス メールが送信される**
vCloud Director がデフォルトのユーザー アカウント nobody@vmware.com にアラートの E メール通知を送信すると、nobody@vmware.com から組織管理者にバウンス メールが送信されます。
- **経路指定された組織 VDC ネットワークの作成に失敗する**
経路指定された組織 VDC ネットワークを作成しようとする、次のエラー メッセージが表示され、操作が失敗します。
入力した要求は無効です。
- **NSX-T によってバックキングされている組織 VDC の削除に失敗する**
組織 VDC が NSX-T によってバックキングされている場合、その組織 VDC を削除しようとする、 「NullPointerException」というエラー メッセージが表示され、失敗します。
- **vCloud Director テナント ポータルで、既存のソース NAT (SNAT) ルール構成を更新すると、ターゲット IP アドレスが削除される**
Edge Gateway で、既存の SNAT ルールの構成を更新すると、ターゲット IP アドレスが削除されます。
- **既存の IPsec VPN サイトの更新、または新しい IPsec VPN サイトの構成を行うと、IPsec VPN トンネルがリセットされる**
サイト間の IPsec VPN 接続が構成されている Edge Gateway で、既存の IPsec VPN サイトの更新、または新しい IPsec VPN サイトの構成を行うと、既存の IPsec VPN トンネルがリセットされます。
- **vApp テンプレートから vApp を作成すると、vApp 内の仮想マシンのゲスト OS のカスタマイズ プロパティが正しくない**

この問題は、vApp テンプレートで **[ゲストのカスタマイズを有効化]**、**[ローカル管理者パスワードを許可]**、**[初回ログイン時にパスワードの変更を管理者に要求]**、および **[パスワードを自動生成]** のオプションが有効になっている場合に発生します。HTML5 ユーザー インターフェイスを使用して vApp テンプレートから新しい vApp を作成すると、**[ローカル管理者パスワードを許可]** オプションと **[初回ログイン時にパスワードの変更を管理者に要求]** オプションが選択解除されます。

- **新しい仮想マシンでカスタム ディスク サイズの値を設定できない**

新しい仮想マシンの作成中に **[カスタム サイジング オプション]** ラジオ ボタンを選択すると、**[サイズ]** ドロップダウン メニューには事前定義されたサイズ値のみが表示され、カスタムのディスク サイズ値を設定できません。

- **新しい仮想マシンを vApp に追加できない**

vApp 外部ネットワークが複数のサブネットで構成されている場合、新しい仮想マシンをこの vApp に追加しようとする、「既存のサブネットを削除できません」というエラー メッセージが表示され、失敗します。

- **仮想マシンの名前を変更すると、Single Root I/O Virtualization が有効になっている既存の NIC が削除される**

Single Root I/O Virtualization (SR-IOV) がサポートされている NIC で構成された仮想マシンで、仮想マシンの名前を変更すると、SR-IOV が有効になっている NIC が削除されます。

- **vCloud Director API の使用時に、複数の仮想マシンがある vApp をスナップショットに戻すことができない**

vApp に複数の仮想マシンがある場合、API を使用して vApp をスナップショットに戻そうとすると、「HibernateException」というエラー メッセージが表示され、操作が失敗します。

- **vCloud Director テナント ポータルでワークフローが完了として表示されるまでに vRealize Orchestrator クライアントよりも時間がかかる**

vRealize Orchestrator クライアントで **[新規 vApp のデプロイ]** ワークフローが実行される際に、複数の仮想マシンを仮想マシン グループに同時に追加すると、vCloud Director テナント ポータルでワークフローが完了として表示されるまでに vRealize Orchestrator クライアントよりも時間がかかります。

- **新しい分散ファイアウォール ルールを組織 VDC に追加すると、事前定義されたサービスを選択できない**

新しい分散ファイアウォール ルールを組織 VDC に追加すると、新しいルールの事前定義されたサービスを選択するためのフィルタで大文字と小文字が区別され、サービスを選択できません。

- テンプレートから新しく作成された仮想マシンの Peripheral Component Interconnect (PCI) スロット番号の順序が正しくない

新しい vApp で、テンプレートから仮想マシンを追加すると、その仮想マシンの PCI スロット番号がソース仮想マシン テンプレートの PCI スロット番号に一致しません。

- プロバイダ VDC のストレージ ポリシーのリストを開くと、CPU 使用率が高くなる

外部 PostgreSQL データベースを使用する vCloud Director 環境を vCloud Director アプライアンス環境から構成される vCloud Director 環境に移行した後、プロバイダ VDC のストレージ ポリシーのリストを開くと、VMware vCloud Director アプライアンスの CPU 使用率が高くなります。

既知の問題

- 複数セル環境のプライマリ セルでタスクを静止または一時停止しても、定期タスクがセカンダリ セルで再開しない

複数セル環境でプライマリ セルを静止または一時停止すると、プライマリ セルのバックグラウンドで実行されている定期タスクが、セカンダリ セルで再開しません。

回避策: セルで vCloud Director サービスを再起動します。

- vCloud Director Service Provider Admin Portal で組織仮想データセンターの削除を行うと、「**組織 VDC ネットワークを削除できません**」というエラー メッセージと共に失敗する

vCloud Director Service Provider Admin Portal で、組織仮想データセンターに Edge Gateway を追加し、ゲートウェイが vCloud Director 分散ルーティングを提供できるようにします。

組織仮想データセンターを再帰的に削除すると、「組織 VDC ネットワークを削除できません」というエラー メッセージが表示されます。

回避策: 組織 VDC を削除するには、次の手順を実行します。

1. API を使用して、削除する組織 VDC に関連付けられている組織 VDC ネットワークと Edge Gateway を削除します。
2. API を使用して、組織 VDC を削除します。

- レガシー API ログイン エンドポイントへのプロバイダ アクセスを無効にすると、vCloud Usage Meter や vCloud Availability for vCloud Director など、システム管理者のログインを利用するすべての API 統合が機能を停止する

vCloud Director 10.0 以降では、サービス プロバイダおよびテナントから vCloud Director へのアクセスに個別の vCloud Director OpenAPI ログイン エンドポイントを使用できます。サービス プロバイダからレガシー /api/sessions エンドポイントへのアクセスが無効になっている場合は、vCloud Usage Meter や vCloud Availability for vCloud Director など、vCloud Director と統合された

製品が機能を停止します。これらの製品を引き続き動作させるには、パッチを適用する必要があります。

この問題は、システム管理者にのみ影響します。テナント ログインは影響を受けません。

回避策：セル管理ツールを使用して、サービス プロバイダからレガシー `/api/sessions` エンドポイントへのアクセスを再度有効にします。

- **VDC の予約保証値を変更すると、再起動しても、既存の仮想マシンが適切に更新されない**

システムのデフォルト ポリシーが設定された Flex 組織 VDC があり、この VDC 上のパワーオン状態の仮想マシンにデフォルトのサイジング ポリシーが設定されている場合に、VDC のリソース保証値を大きくすると、既存の仮想マシンのリソース予約は更新されず、非準拠とマークされることはありません。この問題は、レガシー VDC 割り当てモデルを Flex 割り当てモデルに変換したことで既存の仮想マシンが Flex 組織 VDC の新しいデフォルト ポリシーに準拠しなくなった場合にも発生します。

回避策：

1. 仮想マシン識別子を見つけるには、vCloud Director テナント ポータルで仮想マシンの [詳細] 画面に移動します。URL に識別子が表示されます。
`https://Cloud_Director_IP_address_or_host_name/tenant/.../vm-Identifier/general`
2. vCloud Director ユーザー インターフェイスに非準拠の仮想マシンを表示するには、VMware Cloud Director API を使用して、仮想マシンに対する明示的なコンプライアンス チェックを実行します。
POST: `https://VCD_IP_Address/api/vApp/vm-Identifier/action/checkComputePolicyCompliance`
3. ポリシーを再適用してリソース予約を再構成するには、vCloud Director テナント ポータルで、非準拠仮想マシンに対して **[仮想マシンを準拠させる]** をクリックします。

- **vCloud Director に、専用 vCenter Server インスタンス内の実行中の仮想マシン数と仮想マシンの総数、および CPU とメモリの統計情報が正しく表示されない**

専用 vCenter Server がバージョン 6.0 U3i 以前、6.5U2 以前、または 6.7U1 以前の場合は、vCloud Director に、vCenter Server インスタンス内の実行中の仮想マシン数、仮想マシンの総数、および CPU とメモリの統計情報に関する情報が正しく表示されません。vSphere 環境に仮想マシンが置かれている場合でも、テナント ポータルの専用 vCenter Server のタイルと、サービス プロバイダ管理ポータルの専用 vCenter Server の情報に、実行中の仮想マシンと仮想マシンの総数が両方ともゼロと表示されます。

回避策：vCenter Server インスタンスをバージョン 6.0 U3j、6.5U3、6.7U2 以降にアップグレードします。

- **現在のプライマリ セルが健全な場合、アプライアンス管理ユーザー インターフェイスを使用してスタンバイ セルをプライマリに昇格させることができない**

プライマリ ノードが健全な場合、アプライアンス管理ユーザー インターフェイスの **[昇格]** ボタンは機能しません。

回避策: Replication Manager Tool スイートを使用して、プライマリとスタンバイのロールを切り替えます。詳細については、「[データベース高可用性クラスタ内のプライマリ セルおよびスタンバイ セルのロールの切り替え](#)」を参照してください。

- **仮想マシンのサイジング ポリシーの更新がメモリ割り当てエラーで失敗する**

割り当てプール VDC を Flex 組織 VDC に変換すると、vCloud Director は変換前の割り当てプール VDC の最大ポリシー情報を保持します。割り当てプール VDC で定義されている予約よりも CPU またはメモリの予約が多く確保されている場合、「仮想マシンの予約、制限、または共有の設定が無効です」エラーで失敗します。

回避策: システム管理者としてログインし、新しいリソース予約保証を使用して新しい最大ポリシーを設定します。

- **NSX-T Edge Gateway の Edge Gateway グリッドに表示される使用済み NIC の数が正しくない**
NSX-T 組織 VDC Edge Gateway では、vCloud Director サービス プロバイダ管理ポータル の [Edge ゲートウェイ] ページに表示される使用済み NIC の数が正しくありません。この問題は、機能そのものには影響しません。

回避策: なし。

- **vCloud Director Service Provider Admin Portal で SAML の ID プロバイダを使用するようにシステムを構成できない**

vCloud Director Service Provider Admin Portal で SAML の ID プロバイダを使用するようにシステムを構成すると、vCloud Director Service Provider Admin Portal に再度ログインすることができません。

回避策: vCloud Director Web コンソールで、SAML の ID プロバイダを使用するようにシステムを構成します。

- **テナント H5 ユーザー インターフェイスで組織 VDC ネットワークを vApp に追加する場合、一部の組織 VDC ネットワークが表示されない**

テナント H5 ユーザー インターフェイスで vApp に追加する組織 VDC ネットワークを選択するときに、H5 ユーザー インターフェイスに完全なネットワーク リストが表示されません。この問題は、マルチクラスタでバックアップされた PVDC が使用されている場合に、共有されている組織 VDC ネットワークでのみ発生します。

回避策: vCloud Director Web コンソール (Flex ユーザー インターフェイス) を使用します。

- **vCloud Director でレガシーの自己署名証明書を使用している場合、SDDC プロキシにアクセスできない**

vCloud Director 9.7 へのアップグレード後、SDDC プロキシに接続すると、次のエラーメッセージが表示されて失敗することがあります：検証エラー：num = 20：ローカルの発行者による証明書を取得できません。この問題は、vCloud Director 9.5 以前のセル管理ツールを使用して、自己署名証明書を生成した場合に発生します。

回避策：vCloud Director 9.7 にアップグレードしてから、自己署名証明書を再生成して更新します。

- **vCloud Director 9.7 (vCloud API v.32.0) へのアップグレード後、ブランディング OpenAPI 呼び出しを使用して追加したカスタム リンクが削除される**

vCloud API v.32.0 では、カスタム リンクに使用される UiBrandingLink というタイプは、タイプ UiBrandingMenuItem に置き換えられています。これらのタイプは、異なる要素があります。この変更は、後方互換性がありません。この結果、バージョン 31.0 以前の API 呼び出しは UiBranding オブジェクト内の customLinks の処理または設定を試行して失敗します。

回避策：API 呼び出しを新しいデータ タイプに更新します。

- **パワーオン状態にある仮想マシンのコンピューティング ポリシーを変更すると失敗することがある**

パワーオン状態にある仮想マシンのコンピューティング ポリシーを変更する際に、仮想マシングループまたは論理仮想マシングループが含まれるプロバイダ VDC コンピューティング ポリシーに新しいコンピューティング ポリシーが関連付けられていると、エラーが発生します。次のエラーメッセージが表示されます。基盤システムのエラー：

com.vmware.vim.binding.vim.fault.VmHostAffinityRuleViolation。

回避策：仮想マシンをパワーオフしてから、操作をやり直してください。

- **Firefox で vCloud Director Service Provider Admin Portal を使用している場合に、テナント ネットワーク画面をロードできない**

Firefox で vCloud Director Service Provider Admin Portal を使用すると、組織仮想データセンターの **[ファイアウォールの管理]** 画面などのテナント ネットワーク画面の読み込みに失敗することがあります。この問題は、Firefox ブラウザでサードパーティの Cookie をブロックするように設定していると発生します。

回避策：Firefox ブラウザで、サードパーティの Cookie を許可するよう設定します。

- **vCloud Director 9.7 では、vRealize Orchestrator ワークフローの入力パラメータのリストのみがサポートされる**

vCloud Director 9.7 では、以下の vRealize Orchestrator ワークフローの入力パラメータがサポートされます。

- boolean
- sdkObject
- secureString
- number
- mimeAttachment
- properties
- date
- composite
- regex
- encryptedString
- array

回避策：なし

- **VMware vSphere Storage APIs Array Integration (VAAI) 対応 NFS アレイ上、または vSphere Virtual Volumes (VVols) 上に作成されている高速プロビジョニングされた仮想マシンを統合できない**

ネイティブ スナップショットが使用されている場合、高速プロビジョニングされた仮想マシンのインプレイス統合はサポートされません。VAAI 対応データストアおよび VVols では、ネイティブ スナップショットが常に使用されます。高速プロビジョニングされた仮想マシンがこれらのいずれかのストレージ コンテナにデプロイされている場合、その仮想マシンを統合することはできません。

回避策： "VAAI 対応 NFS または VVols を使用する組織仮想データセンターで高速プロビジョニングを有効にしてはいけません。"VAAI または VVol のデータストアにスナップショットを持つ仮想マシンを統合するには、その仮想マシンを別のストレージ コンテナに再配置します。

- **組織 VDC ネットワークのステータスが空白になる**

H5 テナント ポータルで、運用中の一部の古い組織 VDC ネットワークのステータスが空白になります。

回避策：組織 VDC ネットワークのプロパティ（説明など）を変更して保存します。

- **組織 VDC ネットワークをテナント ポータルから削除できない**

VDC ネットワークを vApp に追加して、同じ vApp を仮想マシンに接続したとします。

この場合に、テナント ポータルで組織 VDC ネットワークを削除しようとする、エラー メッセージが表示され、削除を続行できなくなります。

このネットワークは使用中です。

回避策：組織 VDC ネットワークを削除するには、次の手順を実行します。

1. vCloud Director Web コンソールで、[システム]>[組織] に移動して、組織名を選択します。

組織に関連付けられているすべての vApp を含むウィンドウが開きます。

2. 組織 VDC の vApp を選択して、[ネットワーク] タブに移動します。

3. 削除する組織 VDC ネットワークを右クリックして、[削除] を選択します。

4. 組織 VDC ネットワークを削除するには、[適用] をクリックします。

- **vCloud Director テナント ポータルで非アフィニティ ルールを作成すると、ユーザー インターフェイスに空の仮想マシン リストが表示される**

vCloud Director テナント ポータルで非アフィニティ ルールを作成しようとする、仮想マシンの選択リストが空であるため、ルールに追加する仮想マシンを選択できません。

回避策: 非アフィニティ ルールを作成するには、vCloud Director Web コンソールを使用します。

- **新しく作成した仮想マシンが組織 VDC のデフォルト ストレージ ポリシーにデプロイされる**

vCloud Director テナント ポータルで新しいスタンドアロン仮想マシンを作成するときに、ストレージ ポリシーを指定するオプションが表示されません。その結果、作成された仮想マシンは、組織 VDC のデフォルトのストレージ ポリシーを使用してデプロイされます。

回避策: 仮想マシンを作成した後に、生成された仮想マシンのプロパティに移動して、ストレージ ポリシーを変更します。